La Quartina

ラ・クァルティーナ in Bunkyo 2015

in Bunkyo 2015

新たなる境地へ
――クラシックから伝説のロックまで。

J. S. バッハ／無伴奏チェロ組曲第２番 ニ短調 BWV1008 より
ボッケリーニ／２つのチェロの為のソナタ ハ長調 G. 74
ヘンデル／グラーヴェとフーガ（チェロ三重奏版）
サン＝サーンス／チェロ協奏曲第１番 イ短調 op.33（チェロ四重奏版）
＊ ＊ ＊
I. アルベニス／タンゴ
E. フランチーニ／やってきた彼女
M. モーレス／ブエノスアイレスの喫茶店
H. バレーラ＆A. ネリー／EL58
フラマリオ＆A. ソリチッロ／黒猫のタンゴ
ビートルズ／ レット・イット・ビー
ビートルズ／イエスタデイ
ビートルズ／ヘイ・ジュード
斎藤ネコ編／クイーンメドレー（文京シビックホール委嘱作品）

主催：文京シビックホール（公益財団法人文京アカデミー）

follow us @ BunkyoCivicHall

2015年10月9日㊎
19:00開演（18:30開場）
文京シビックホール 小ホール

料金：3,800円（全席指定・税込）
2015年6月6日㊏10:00～ チケット発売!!
※発売初日のチケットのお求めは、お一人様4枚までとなります。お席は選べません。

チケットのお求め・お問合せ
◆シビックチケット　03-5803-1111
文京区春日1-16-21 文京シビックセンター2F
（10:00～19:00 土・日・祝休日も受付。）

その他プレイガイド
◆シビックホールメンバーズ
インターネット限定で入会金・会費は無料　詳しくはホームページへ
《PC》http://b-civichall.pia.jp/　《Mobile》http://m.pia.jp/b-civichall/
◆チケットぴあ　0570-02-9999 [Pコード：261-563]

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※出演者、曲目を変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。
※ご予約後の変更およびキャンセルはお受け出来ません。
※公演中止の場合を除き、ご入金後の払い戻しはいたしませんのでご了承ください。

La Quartina in Bunkyo 2015

ラ・クァルティーナ in Bunkyo 2015

今年で6回目の開催となる“ラ・クァルティーナ in Bunkyo”。チェロの名曲に加え、今回は伝説のロック・バンド“クイーン”が生んだヒット曲をメドレーでお届けします。

ホールを知り尽くした四人のチェロ・マイスターがクラシックとポップスのクロス・オーバー・プログラムに挑む!

ラ・クァルティーナ　チェロ四重奏

NHK交響楽団首席チェロ奏者の藤森亮一が中心となり、聴衆の要望をふまえ、NHK交響楽団の腕利きのチェリスト4人（首席と3人のフォアシュピーラー）で結成。結成と同時にCDを発売し、またたく間に話題となる。時にはオーケストラ、時にはパイプオルガンの如く響き渡る彼らのハーモニーは、圧巻の美しさ。4人それぞれがソリストであり、オーケストラ奏者であり、室内楽奏者でもあるため、4人で集まることがとても難しく、そのコンサートはとても貴重なものとなっている。

2004年6月に王子ホールで行われた公演では、平日の昼公演にもかかわらず、チケット発売後すぐに完売となり、2005年8月のかつしかシンフォニーヒルズでの公演も満席。また2008年7月の文京シビックホールでの公演では、チケット発売開始すぐに完売となり追加公演が行われる。その後も2009年福島県いわきアリオス、浜離宮朝日ホール、文京シビック、2011年千葉市科学館、文京シビック、2012年千葉市科学館、パルテノン多摩、2013年文京シビックの各公演ですべて完売となるなど、絶大なる人気のアンサンブルとなっている。2006年には名古屋国際室内楽フェスティバル、北九州国際音楽祭からも招待された。

CDはマイスター・ミュージックから「シャコンヌ」、「タンゴ・クァルティーナ」、「アダージョ」、「アンダンテ・カンタービレ」、「シンフォニック・クァルティーナ」、「リベルタンゴ」、「バッサカリア」、「15シーンズ」、「皇帝円舞曲」、「バギアーナス・ブラジレイラス」の10枚のアルバムを発売し、いずれも好評となっている。

今後の活躍が最も期待されているアンサンブルである。

藤森　亮一

1963年京都生まれ。11歳よりチェロを始め、京都市立堀川高等学校音楽科を経て、東京音楽大学に入学。第29回文化放送音楽賞、第52回日本音楽コンクール第1位、第21回東京国際音楽コンクール弦楽四重奏部門・斎藤秀雄賞、第26回京都府文化賞功労賞などを受賞。1987年NHK交響楽団に入団。これまでに徳永兼一郎、上村昇、河野文昭、ワルター・ノータスの各氏に師事。現在NHK交響楽団首席チェロ奏者を務める傍ら、モルゴーア・クァルテット、ボア・ヴェール・トリオ、チェロ四重奏のラ・クァルティーナほか数多くのアンサンブルや、リサイタル、コンチェルト等ソロ奏者としても活躍、モルゴーア・クァルテットとして1998年村松賞、2010年度アリオン賞を受賞。また、東邦音楽大学特任教授、国立音楽大学客員教授、東京藝術大学非常勤講師を務め後進の指導にも当たっている。録音は14枚のソロ・アルバムの他、数多くのアンサンブルのCDが発売されている。

藤村　俊介

1963年東京生まれ。桐朋学園大学音楽学部卒業。チェロを安田謙一郎氏に師事。日本演奏連盟賞受賞。第21回東京国際室内楽コンクール入賞。第58回日本音楽コンクールチェロ部門第2位に輝き、桐朋学園オーケストラ、九州交響楽団、新日本フィル等と共演。1989年NHK交響楽団に入団。1993年ドイツに留学し、ペーター・ブック氏に師事。これまでに4枚のソロ・アルバム「バラ色の光り輝く雲が、ゆったりと流れ」、「カサド:無伴奏チェロ組曲」、「ダンツァ・エスパニョーラ」、「ハバネラ」及び、N響ヴァイオリン奏者大宮臨太郎とのアルバム「バッサカリア」、安田謙一郎との「チェロ・デュオ」をリリースしている。現在NHK交響楽団のフォア・シュピーラー、チェロ四重奏のラ・クァルティーナのメンバーを務める他、フェリス女学院大学講師、桐朋学園大学非常勤講師、洗足学園大学客員教授として後進の指導にも当たるなどソロ、室内楽、オーケストラと多彩に活躍している。

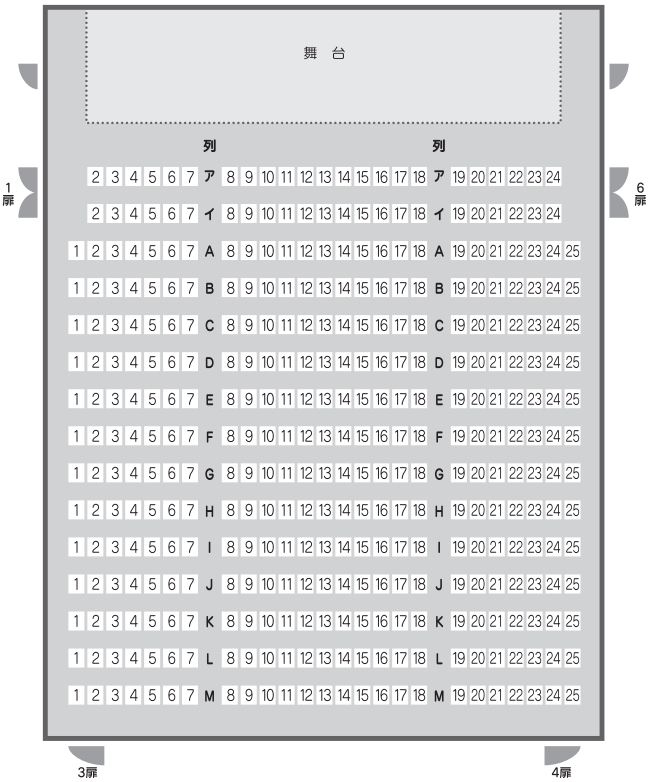
銅銀　久弥

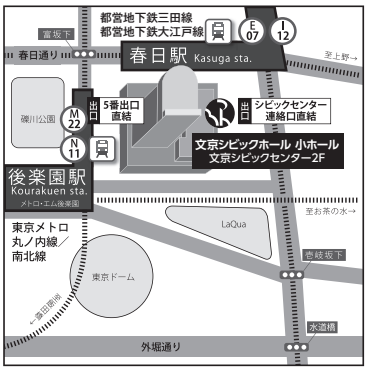
広島市生まれ。10歳よりチェロを始め、斉藤秀雄氏及びその門下生達の指導を受ける。桐朋女子高校音楽科（共学）、桐朋学園大学で藤原真理、倉田澄子、井上頼豊の各氏に師事。1982年同大学を卒業。米国のタングルウッド音楽祭に奨励金を受け参加。1983年桐朋学園オーケストラ、広島交響楽団のソリストとして協奏曲を共演。1984年NHK交響楽団に入団。1991年N響の海外研修員としてミュンヘンに留学し、ワルター・ノータスに師事。第52回日本音楽コンクールのチェロ部門入選。第68回日本音楽コンクール作曲部門の作品演奏でコンクール委員会特別賞受賞。現在は、NHK交響楽団フォア・シュピーラー、チェロ四重奏のラ・クァルティーナのメンバーを務める他、ソロ、室内楽、オーケストラのチェロ奏者として幅広く活動し、ソロ・アルバム「パンペアーナ」もリリースしている。また、洗足学園大学非常勤講師、桐朋学園大学院大学教授として後進の指導にも当たっている。

桑田　　歩

1965年茨城県土浦市生まれ。東京音楽大学付属高校を経て、1984年同大学専修科コース入学。1987年よりウィーン市立音楽院に留学。第10回霧島国際音楽祭にて特別賞を、イタリアのキジアーナ音楽院にて特別名誉賞を受賞。1991年に帰国、群馬交響楽団の首席チェロ奏者に就任し、定期演奏会等にてソリストとしても活躍。1995年新星日本交響楽団の首席チェロ奏者に就任。新星日響の活動の傍ら、新日本フィル、東京都響、大阪フィル等の客員首席奏者を務める。第68回日本音楽コンクール作曲部門の作品演奏で「委員会特別賞」受賞。1999年NHK交響楽団に入団し、現在はフォア・シュピーラーを務める。チェロ四重奏ラ・クァルティーナのメンバーを務める他、室内楽、ソロと多彩に活躍し、ソロ・アルバム「ヴォカリーズ」、「メロディ」もリリースしている。これまでにチェロを堀了介、ダニール・シャフラン、ヨンチョ・バイロフ、室内楽をリッカルド・ブレンゴラの各氏に師事。

小ホール座席表





〒112-0003
東京都文京区春日1−16−21
文京シビックセンター2F
http://bunkyocivichall.jp/access

交通アクセス

- 東京メトロ丸ノ内線・南北線「後楽園」駅【直結】
- 都営地下鉄三田線・大江戸線「春日」駅【直結】
- Bーぐる（文京区コミュニティバス）停留所1番「文京シビックセンター（春日駅前）」